



榎原チャレンジ!一歩前へ

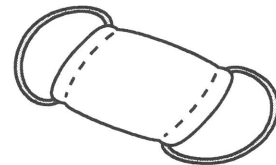
下郷町立榎原小学校
学校だより No.42
令和3年 1月18日
文責:校長 酒井 健

◇コロナ感染防止・・・ご家庭と学校と地域で徹底した対策をとりましょう。

1月12日付けで、福島県から「学校における新型コロナウイルス感染拡大防止対策の徹底について」という通知がありました。県内の感染状況が「ステージⅢ」相当であるとされたことから、学校の行動基準における対応を「レベル2」に引き上げられました。対象期間は、令和3年1月13日(水)～2月7日(日)とされておりますが、今後の状況によっては、さらに延長されることも考えられます。これを受けまして、教育委員会のご指導のもと、下郷町小中学校長会議でも検討を行いました。その後、榎原小学校においても、先日15日(金)に、臨時職員打ち合わせを開催して、今後の学校生活における感染対策の在り方について、全職員で共通認識を図りました。

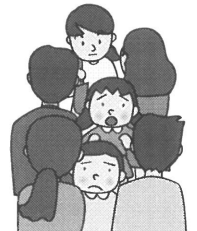
現在、下郷町でも、数名の感染者が確認されており、コロナウイルス感染対策については、「対岸の火事」ではありません。学校におきましては、下記のとおり、これからも感染対策に努めてまいります。保護者の皆様方も、下記の内容をお読みいただき、ご家庭においても、十分な感染対策をお願いいたします。

ご家庭にお願いしたいこと



- ① 登校前、お子様の検温を必ずしてください。また、検温表に記載し、学校への提出を忘れずをお願いいたします。
- ② 朝、家を出る時からマスクを着用させてください。登校時、マスクをしていない児童がいて、毎朝、声をかけています。
- ③ 現在、11都府県に「緊急事態宣言」が出されています。緊急事態宣言対象地域への不要不急の往来は自粛することとなっています。もしも、ご家庭で諸事情により、緊急事態宣言対象地域へ出かける場合は、出かける前に学校にご連絡をお願いいたします。

【緊急事態宣言対象地域】			令和3年1月18日現在	
東京都	神奈川県	埼玉県	千葉県	
大阪府	兵庫県	京都府		
愛知県	岐阜県	福岡県	栃木県	11都府県へ発令



学校での感染対策について



【日々の生活で】

- 毎朝の各教室での朝の会で、「朝の歌」は歌わないことにします。
- 手洗い・うがいを徹底します。マスクの正しい付け方についても指導します。
- 冬ですが、計画的に教室の換気を行います。
- 給食は、「黒板を向いて」「大声での会話をしない」「食事後にはすぐにマスク着用」を徹底していきます。
- 休み時間、遊ぶ際にはマスク着用とします。密接・密集にならないようにします。
- お昼の放送は、音楽のみとして、委員会の子どもたちは教室で給食を食べます。
- 全校生で集まる集会活動は、できる限り停止して、放送等で実施します。
- 朝、登校時、児童昇降口において必ずアルコール消毒をしています。(養護教諭による)
- 毎日、校舎内をアルコール消毒しています。(スクール・サポート・スタッフによる)
- 毎日、放課後、各教室の机、椅子のアルコール消毒をしています。(各担任による)
- 子ども同士の声が、大声にならないよう日頃から指導をしてまいります。

【授業において】

- 感染リスクの高い学習活動を控えます。
- グループになって近距離での学習、大声で話す活動等は控えます。
- 近距離・・・顔と顔を近づけての学習は避けます。
- 音楽科での合唱、リコーダー、鍵盤ハーモニカの学習を一端停止とします。
- 家庭科の調理実習は、これまで同様実施しません。



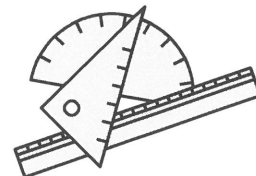
- 体育科のなわ跳び・・・短なわは可、長なわはマスクを着用すれば可としますが、子ども同士の間隔を大きくとって実施することとします。



バスケットボール、バレーボール等、「児童生徒が密集する運動」「近距離で組み合ったり、接触したりする運動」は当然実施しません。

準備運動・・・ペアでの準備運動は取り入れません。

- 教室で、子どもたち同士の教材教具の貸し借りはしないようにします。
- 器具や用具を共有した後は、必ず手洗いを徹底します。



【行事について】

- ▲ スキー教室〔令和3年2月5日(金)だいくらスキー場〕

中止とします。

下郷町小・中学校すべてにおいて中止となりました。

詳しくは、学校からの「中止のお知らせ」をご覧ください。

- ▲ 鼓笛隊の引き継ぎ・練習は大丈夫なの？

感染対策を十分に行い実施の予定

教室での鍵盤ハーモニカの練習は実施しません。3密にならない、飛沫の影響がない方法で実施いたします。来年度の運動会での「鼓笛行進」、また「交通安全鼓笛パレード」の可否については、今後の状況により判断いたします。

- ▲ 卒業式の合唱(卒業生・在校生)は果たして可能なの？

1月26日に予定していた「合唱指導」(室井州美枝先生)は中止としました。今後「合唱指導」が数回予定されていますが、状況を判断しながら実施の可否を決めます。

卒業式当日は、マスクをした上で、合唱をする方向で考えています。

- ▲ 大川溪流太鼓の「篠笛」指導 2月18日 は大丈夫なの？

体育館で、ソーシャルディスタンスをとって・・・等の方法で実施の予定

- ▲ 「6年生を送る会」 3月2日 は実施できるの？

学年発表なし、短時間、接触なし等の工夫をして実施の予定

- ▲ 豆まき集会 2月3日 などの集会活動は大丈夫なの？

全校生が体育館に集まって・・・ではなく、放送等で実施の予定
豆を一人一人に、袋に入れて渡す等の工夫をします。



- ▲ 中学校の「新入生保護者説明会」 2月12日 について

6学年保護者の皆様方へは本日、下郷中学校からのお知らせを配付いたしました。2月15日(月)、下郷町ふれあいセンター2階第一研修室に変更となりました。ご確認よろしくお願いたします。

校長のひとりごと

今から、約10年前、東日本大震災が発生し、その後の福島第一原子力発電所の事故で、私たちの生活は大きく変わりました。私は、当時、郡山市のある小学校に勤務していましたが、学校はホットスポットがたくさんあり、校庭の表土削除は2度も行いました。「マイクロシーベルト」「ホットスポット」「メルトダウン」聞き慣れない言葉が飛び交い、目には見えない相手に対して、子どもたちは、マスク着用、肌を出さない、外では決して遊ばない・・・様々な制約を余儀なくされました。今の状況と同じではないでしょうか。その後、学校で「放射線教育」が始まり、現在、放射線を正しく理解し、放射線から身を守るためにどうしたらいいか等について学んでいます。コロナウイルスも同じではないでしょうか。「マスクをしなさい」「手洗い・うがいをしなさい」・・・等の行動面の指導だけでは、『やらされ感』=生活に浸透していかないと思います。子どもたちが、このコロナウイルス感染症を正しく理解し、感染のリスクを自ら判断し、これを避ける行動を自らとることができるように、丁寧な指導が必要だと感じています。「コロナウイルスを理解し、感染と向き合い、正しく怖がり、こうしなければいけない」と、子どもたちが感じ取ったり、学び取ったりできるようにしてまいります。